

## 通訳案内士試験道場中国語で学ぶ日本⑤京都解答例

- 1 举世瞩目 世の注目を集める
- 2 数不胜数 数えきれない
- 3 四通八达 交通の便が良い
- 4 南北を貫く朱雀大路を軸にして左京と右京に分け、左京は洛陽を、右京は長安をモデルに建設した。
- 5 漢字の偏とつくり、部首や、一部の草書体をとって作った
- 6 上の句と下の句からなる短い詩で、たいてい日本人は何首かそらんじることができる。
- 7 山盟海誓 永遠の愛を誓う
- 8 不倫、浮気
- 9 まずは斬新なデザインの京都駅に行くことをお勧めする。その観光案内所では相談に乗ってくれるからだ。

### 清水寺

- ① 泉の水は三つに分かれ、それぞれ長寿、健康、知恵を表わしており、
- ② 参拝客はここを通ると必ず一口その水を飲む。無病息災のご利益があるというのだ。
- ③ 12幅19m、奥行き16mである。
- ④ 高さ13mの丸い柱139本で支えている。
- ⑤ 一か八か（背水の陣）で思い切って（捨て身で）やる時
- ⑥ 神社と寺は本来全く関係ない別々の宗教だ。
- ⑦ 国内外の観光客が連れ立ってぶらつき、身振り手振り/ジェスチャーで値切っている/値段交渉をする。
- ⑧ 舞妓に扮した（舞妓のコスプレをした/変身した）

### 祇園

- ① 妓楼が集まる花街/色街
- ② 顾名思义 文字通り／読んで字のごとく
- ③ 客にお酌をし
- ④ 多才多艺 多芸多才
- ⑤ 艶やかに着飾り恥ずかしげに微笑みを浮かべる舞妓に運よく出会えたときには、まるで時間が逆戻りしたかのような感じがする。
- ⑥ 芸妓の修業（見習い）中

- ⑦ 「若旦那衆」のなかには妄想（勘違いなことを期待）する人もいて
- ⑧ それは全く勘違い（お門違い）で、芸妓という仕事は「芸は売っても体は売らない」のだ。
- ⑨ 芸妓らはとても教養にあふれ、
- ⑩ 琴棋书画 文化人のたしなみ
- ⑪ まず話し上手でなければならず、賢く気が利かねばならない。
- ⑫ 口が堅くなければならない。
- ⑬ お座敷（大広間）には畳が敷かれていて、ふすまには絵がかかっている。
- ⑭ 壁には掛け軸（書画）が掛かっている。床の間の前が上座である。
- ⑮ なじみの客の紹介がなければ入れない（一見さんお断り）。
- ⑯ 京都は三方を山に囲まれていて、湿気が逃げない。
- ⑰ 夏の夕方には各店の前で暑さを和らげ、ほこりがたたないように打ち水をし、客にこの上ない涼しさ/さわやかさを感じてもらうのだ。
- ⑱ 雨の日には時に赤いから傘をさした婦人を見ることもある。

## 着物

- ① 落地生根 根付く
- ② 未婚女性は振袖を、既婚女性は留袖を着ると、非常に上品であてやかだ。
- ③ 承先启后 先人から引き継いで発展させ
- ④ 西軍はここに陣、すなわち本拠地を構えた。
- ⑤ 金糸や銀糸を織り込んだ豪華な織物
- ⑥ 友禅染の着物を身にまとったおしゃれな女性であふれていた。
- ⑦ 風呂上りに寝巻代わりに着る「浴衣」
- ⑧ 桐箆筒
- ⑨ 古为今用 昔のものを今に生かす
- ⑩ ブーツをはく

## 京土産

- ① 様々な伝統工芸品に京都の旅の趣きがより一層深まることだろう。
- ② どの世界/業界にも名人はいる
- ③ 全国に名をとどろかす
- ④ 风花雪月 花鳥風月
- ⑤ 昔から団扇は世界各地でごくありふれたものだった
- ⑥ この平べったいものを折りたたんで小さくし、コンパクトなものにした。
- ⑦ それは当時このようなアイディアは彼ら独自のものだったということなのだ。/ということの意味する。

- ⑧ その店構えや包装紙にまで深い歴史の息遣いがしみこんで/にじんんでいる。
- ⑨ もし気に入った工芸品を手軽に手に入れたいなら、
- ⑩ 通（玄人/目利き）ならば弘法市に行って物色するのも悪くない。
- ⑪ 跳蚤市場 蚤の市 フリーマーケット
- ⑫ 着物のはぎれやリサイクルの着物など様々な品物が露店にぎっしり並ぶ。
- ⑬ それは布を足の裏の形に縫いあげ、親指と他の指を分け、くるぶし/足首まで包み込んだ靴下である。

### 京都流コミュニケーション

- ① 日本人は何事も丸く収めようとする性分だ。一方笑いものになるのを嫌がるので、
- ② 开门见山 ストレートに、ズバリ
- ③ 外国人はじれったく（もどかしく）、時にはイライラしたりさえする。
- ④ 日本で最も回りくどく/遠まわしで、相手の本音をくみ取らねば/察しなければならぬのは京都の人だ。
- ⑤ 「察し/言わなくてもわかること/以心伝心」が大切な付き合い方
- ⑥ 相手の意見をきっぱり否定したり、相手と真っ向から対立したりする
- ⑦ 相手に恥をかかせることになるので、怒りをこらえてやんわりと断わるのだ。
- ⑧ 思わせぶり/禅問答のように
- ⑨ 口是心非 いうことと考えることが違う/腹黒い
- ⑩ 心心相印 心が通じる/言わなくてもわかる/以心伝心
- ⑪ 「勉強になりました。」
- ⑫ このようなつきあい方は京都では通用しないのだ。

### 京都の庭

- ① 建物の前の庭園、花が咲き乱れる庭園、池のほとりに木が生い茂る庭園、池の周りに築山や樹木、東屋/四阿を配した庭園
- ② 国がまえのなかに「土（土を固めて作った築山を表す）」と「口（池の形を表す）」、そして「衣（すなわち衣を着た人）」
- ③ 京都の庭園は単なる桃源郷ではない。それはあの世（黄泉の国）と隣り合わせだからだ。
- ④ 西方（さいほう）極楽浄土を具体的に表現したものだ。
- ⑤ 貴族ら権力者は極楽浄土にあこがれたが、往生を果たすことはできなかった。
- ⑥ 衣笠山を借景とした鹿苑寺庭園は通称「金閣寺」と呼ばれる。
- ⑦ 観光客たちはみな金閣に向かってピントを合わせ、シャッターを切る。
- ⑧ きらびやかな金閣は明の使節たちに対する一種の誇示/ひけらかしであった。
- ⑨ これらの不老不死の島には「常に青い」、すなわち永遠に若さを保つ松の木が植えられ

ており、往生や長寿を願う人々に思いをはせないではいけない。

- ⑩ これが盛んに山水画を立体化させた枯山水の様式である。
- ⑪ 竹の熊手で白砂の上に波の模様を描いただけで海を表すのだ。
- ⑫ 太湖石のような奇岩怪石ではなく、何の変哲もないどこにでもある岩である。
- ⑬ 「引き算の美学」すなわち白黒のモノトーンで表した枯山水庭園である。
- ⑭ 人間は生死に直面すると花鳥風月を愛でる気にはならない。それよりも物事の根源を突き詰めようとするものだ。
- ⑮ 美しさの裏に生死と向き合った世界観があるのだ。

## 中国語で学ぶ日本⑤京都 単語表現帳 氏名

1 世の注目を集める／2 数えきれない／ 3 交通の便が良い（いずれも成語）	
5 偏とつくり、部首（成語）／6 上の句/下の句 7 永遠の愛を誓う（成語）	
8 不倫／9 斬新な／観光案内所で相談にのって くれる	
2 参拝客／無病息災／3 幅 19m、奥行き 16m	
4 高さ 13mの丸い柱 139 本で支えている。	
5 一か八かで思い切ってやる。	
6 全く関係ない別々の宗教/7 身振り手振りで値切 る	
8 舞妓に扮した	
1 花街／2 文字通り（成語）／3 お酌する	
5 運よく出会う／ 艶やかに着飾り恥ずかしげに微笑みを浮かべる舞妓	
6 修業（見習い）中／7 勘違いする／8 お門違い	
9 話し上手/10 文人の四種のたしなみ/12 口が堅い／	
13 お座敷/15 なじみの客/16 三方を山に囲まれる	
16 湿気が逃げない/17 暑さを和らげる/打ち水する。	
18 赤いから傘をさした婦人	
1 根付く（成語）/2 既婚／留袖／上品であてやかだ。	
3 先人から引き継ぎ発展させる（成語）／4 本拠地	
5 金糸や銀糸を織り込む/6 おしゃれな女性であふれ る	
8 桐箆筒／9 昔のものを今に生かす（成語）10 ブーツ	

2 どの世界にも名人はいる/4 花鳥風月（各成語）	
5 うちわ/6 コンパクトな（成語） 8 深い歴史の息吹	
9 気に入った工芸品を手軽に手に入れる。	
10 通（玄人）/物色する/11 蚤の市/12 着物の端切れ	
12 様々な品物が露店にぎっしり並ぶ。	
13 足袋 <sup>たび</sup> （20-30 字で説明）	
1 何事も丸く収める/笑いものになる（各成語）	
2 ストレートに、ズバリ/3 じれったい（各成語）	
3 イライラする（成語）	
4 回りくどい/相手の本音をくみ取る。	
5 言わなくてもわかる/6 きっぱり否定する/ 真っ向から対立する（各成語）	
7 相手に恥をかかせる/怒りをこらえやんわり断わる	
8 思わせぶり/9 いうことと考えることが違う（成語）	
11 「勉強になりました。」/12 通用しない	
1（建物の横の）庭園/（花中心の）庭園/ （木中心の）庭園/（池や築山、東屋のある）庭園	
2 築山/3 あの世と隣り合わせだ/5 権力者/	
6 衣笠山を借景とする/ 7 ピントを合わせ、シャッターを切る	
9 永遠に若さを保つ/思いをはせる（各成語）	
11 熊手/12 何の変哲もない（成語）/13 引き算	
13 モノトーン/14 生死に直面する/物事の根源をつきつめる	